

保全状況報告書の世界遺産センターへの提出について（報告）

1 要 旨

2018年11月26日（パリ時間）、「富士山ー信仰の対象と芸術の源泉」の保全状況報告書がユネスコ日本政府代表部からユネスコ世界遺産センターへ提出された。

2 経 緯

時 期	内 容
2018年 3月27日	第10回富士山世界文化遺産協議会において「保存管理の実施状況」を承認
4月～11月	・記載した取組の時点更新を行うなど最新の情報を反映 ・文化庁を中心に保全状況報告書（SOCレポート）を作成、英訳作業を実施
11月26日	ユネスコ世界遺産センターへ提出

3 保全状況報告書の概要

第40回世界遺産委員会（2016年開催）の決議において、資産の保全状況等に関する最新の報告書をユネスコ世界遺産センターへ提出するよう要請されたことを受けて、日本国政府が提出したものの。

【主な記載事項】

2016年1月に提出した保全状況報告書に示した「ヴィジョン・各種戦略」等に基づき実施している保存・活用の施策の進捗状況

- ・ 静岡・山梨両県による「富士山世界遺産センター」の開設
- ・ 登山者数を含めた複数の指標・水準の設定 など

4 今後の予定

- ・ 2019年6月30日～7月10日

第43回ユネスコ世界遺産委員会（アゼルバイジャン・バグー）で審査